

循環型社会の実現に社業で貢献

1984年に創業。一般家庭から企業まで、お客さまにとって最適な廃棄物・資源物の処理ができるような提案を行っています。

環境意識の高まりで私たち廃棄物処理業者の役割も高まっている中、業界に理解を深めてもらい、社員が誇りを持って働けるような社内改革が重要と考えています。会社のロゴが入った白い運搬作業車や統一された制服で清潔感を大事にしているほか、近年

では機密書類リサイクルの積極的な提案や子ども向け環境教育の実施、インターン学生の受け入れなどにも力を入れています。労働時間の短縮や休暇取得の推進といった従業員の働き方改革も進めています。

また、性別や年齢、国籍、障害の有無などに関係なく、多様な人材が能力を發揮できるダイバーシティ経営にも力を入れます。当社に合った計画をどれだけ実践し、生産性

を高められるか検証する必要がありますが、誰もが働きやすいと感じられる職場づくりを大切にしたいと思っています。

近年よく耳にする「持続可能な開発目標(SDGs)」にも、社業を通じて貢献できると考えています。当社ではごみを回収する際に分別されないままのごみ袋があった場合、回収できない理由を明記した紙を貼って再度分別してもらおうようにしています。これはお互い手間がかかること

ですが、廃棄物を「出す側」に意識を変えてもらうことは、長い目で見ると社会にとってプラスとなるはず。廃棄という言葉がなくなり、リサイクルが当たり前という循環型社会の実現に向け、私たちも積極的に学び、情報発信に努めていきたいと考えています。



菅原産業 代表取締役
菅原 則和 氏

◎出身校

大村工業高校

◎好きな言葉

感謝

◎健康法

3食しっかり食べる



インターンシップ大学生受け入れ(2019年8月)